



## 「授業は奥深い」

伊丹市立総合教育センター  
所長 後藤 猛虎

5月下旬から始まった新規採用教員の訪問指導が、6月30日に終わりました。56名の先生方が緊張と不安の面もちの中で授業に臨みました。どの先生方も真摯に授業に取り組む姿が見られました。

印象に残った授業は、「課題の提示→個で考える→ペアで考える→考えを書く→発表→振り返り」と一単位時間の流れがしっかりしている授業、導入や展開にICTを活用し興味・関心・意欲をもたせる授業、提示物（教材）に工夫が見られ、学ばせたいことが導きやすい授業などです。

反面、一生懸命さが空回りしている授業もありました。例えば、教師の説明が多く、しゃべりすぎている授業、本時の展開と時間に追われ、子どもの反応が見えていない授業、授業は活発そうに見えますが、数人の子どもで授業が進み、学びに広がりがない授業などです。

さて、授業を見る側は、いろいろな視点で授業を見ています。授業だけを見ていわけではありません。学習指導案では、目標が明確で指導したいことがしっかり書けているか。授業者の服装、表情、態度、言葉遣い等はどうか。他にも教室環境、学級集団、子どもの学習態度はどうか等です。それに加えて、授業での導入の工夫、教師の発問、子どもの発言の取り上げ方、板書、班活動の指導、書く（表現）、考える（思考力）時間の設定、本時のねらいの評価等々、授業への視点は枚挙にいとまがありません。その上、子ども主体の授業、21世紀を生き抜く力をつけるための授業、授業のユニバーサルデザイン化など授業改善が求められています。これらのことを考えると授業とは、本当に奥深いものです。

授業には、ドラマがあると云われます。一般に定年退職するまで約30000回以上の授業が待っています。授業を感動あるドラマにするために、どうか日々淡々と授業をするのではなく、しっかりと授業研究を積み、授業力を鍛えてほしいものです。

最後になりましたが、新任の先生方の授業づくりにご尽力いただきました管理職をはじめ、同学年の先生、指導員の先生、その他の先生方に深く感謝申し上げます。引き続き新任の先生方をご支援ください。



初任者訪問指導のようす

# がんばれ!若手教員

5月末～6月にかけて、新規採用教員の訪問指導を実施しました。また、夏季休業中、2年次研修、3年次研修、若手教員のためのスキルアップ講座（採用5年目までの教員対象）など若手教員をターゲットとした研修を実施しています。

各学校園で若手教員が増えています。若手教員は学級経営力、授業力を確実に身に付け明日の学校園を作っていくために、また、中堅・ベテラン教員は若手教員が育つ学校園づくりのために、ぜひ研修を！

## 【初任者訪問指導を終えてコンサルタントからのメッセージ】



山田 恵子  
コンサルタント

挨拶から整然と始まった授業、若いエネルギーに溢れた授業展開、ついつい引き込まれてしまいました。学習規律の確立に向けての取り組みの成果に拍手。さらに以下の2点に気をつけてほしいです。

- **学びに集中できる**学級づくり  
（主導権は教師…子どもたちとの最適な距離感）
- **学習のルール（規律）**をレベルアップ（学級経営の根幹）
  - ① **ルールの確認**「学習にスムーズに取り組むための学級のルールは？」
  - ② **これだけは守らせたいルール**を一つ選び徹底して守らせる → できたら次へ
  - ③ **ルールが守れているか**自覚させる  
…全員起立させ、「〇〇ができた人は座りなさい」
  - ④ **ルールを守らない子は個別支援**  
…行動の目標を一つにしほり、できたら褒める
  - ⑤ **返事・挨拶レベル**をチェック…姿勢・いつもはりがあり明るく元気な声で
  - ⑥ **できているうちの繰り返し（評価）**が大事  
…習慣化（子どもだけでできるまで）

テクニックではなく体全体で、「分かってほしい・できてほしい」と真摯な態度で子どもたちにぶつかっていく姿勢に感動しました。次は、少しずつ技術を！！

- **発問**  
「一つの発問を言い換えたり、繰り返したりしない」「曖昧な発問を避け、具体的でわかりやすいものを」「一問一答から多様な思いを引き出すものを」
- **指示**  
「一度に一事だけを」「具体的でわかりやすい指示を」
- **机間指導**  
何を見て、何を指導するのかはっきりした視点を持って
- **ノート指導**  
日付・本時のめあて・自分の考え・わかったこと等、**定型の指導**を
- **言葉かけ**  
「褒める励ます」「自信を持たせる」「安心感を与える」「見通しを持たせる」等ははっきりした目標を持って言葉かけを



田中 孝志  
コンサルタント

# 振り返りチェックシート

1学期の自分の学級経営や授業を振り返り、2学期に良いスタートを切るため、チェックシートを用意しました。

## ★ 学習規律チェックシート

- 授業開始時、終了時全員そろって**整然と挨拶**ができています
- 授業開始時に教科書、ノート、筆箱などの学習用具が**机上に準備**されている
- 授業中、教師（発表者）が話し始めたら**全員静かに聴く**ことができます
- 指名されたら**明るく元気に返事し、姿勢を整え**答えている

## ★ 1時間の授業（本時）のチェックシート

- 本時の**めあて（目標）は必ず明示**している（板書・ノート）
- 自分で考える時間・表現する**時間を必ず確保**している
- めあて（目標）がどのくらい**達成できたかを必ず確認**している（評価基準）
- 本時の**学習内容をまとめて**いる（ノート指導）

## 2学期に向けてやる気あふれるあなたにおすすめ！ **カリセンミニ講座**

テーマ 「スムーズにスタートしたい。2学期から始める私の取組」

日時 平成26年8月25日（月） 17：15～18：15 【申し込み不要】

場所 伊丹市立総合教育センター 5階 ワークステーション

夏休みが終われば、2学期がいよいよスタート。1学期にできたこと、できなかったこと…自分の学級経営にとって必要なことをもう一度確認し、続けること、新たにに取り組むべきことを考えます。子どもにとっても教師にとっても充実の2学期にしましょう。

## あなたの情報モラルは大丈夫？

教員が子どもや保護者のことをFacebookに書き込んだことが問題になるなど、教員をめぐるさまざまな情報モラルの問題が報道されています。クイズ形式で自らの情報モラルを振り返ってみましょう。

Q1. FacebookやLINEで設定をきちんとしていたら、情報が漏れることは決してないので、仕事の愚痴を書き込んで大丈夫である。

Q2. メールの添付ファイルやファイル共有サイトを使用することで、情報を持ち歩かないようにしている。

### 答え・解説

A1. ×

Facebook等の設定は複雑であり、友達しか見ることができないように設定したつもりでも、投稿した写真がみんなに見られてしまうことがあります。また、子どもや保護者が教師の名前でインターネット検索した結果、過去に投稿した写真を見られるという事案も発生しています。

A2. ×

情報漏えいの最大の原因はメールの誤送信だと言われています。また、ファイル共有サイトは設定により、誰もがファイルを見ることができる状態になってしまいます。

# 平成26年第2回伊丹市議会における質問

平成26年第2回市議会での質問から「土曜学習の実施状況」「柔道の授業・部活動での事故防止策及び安全対策」についての伊丹市教育委員会の答弁を抜粋、要約して紹介します。

## 【質問趣旨】

市内小・中学校の土曜学習の実施状況について

## 【答弁内容抜粋】

(教育長答弁)(前略) 昨年11月に学校教育法施行規則の一部が改正され、公立学校については、教育委員会の判断で「土曜授業」を実施できるようになりました。そこで文部科学省は、土曜日の教育活動として、教育課程に位置づけた「土曜授業」、教育課程外の活動として行う「土曜の課外授業」、学校以外の者が主体となって、希望者に対して学習等の機会を提供する「土曜学習」の3つの形態を示しました。

本市においては、学力の向上が喫緊の課題であり、昨年度の全国学力・学習状況調査を分析してまいりますと、基礎学力に課題のある子どもがどの学校にも存在すること、また、土曜日や日曜日など学校が休みの日に1時間以上勉強する児童・生徒の割合が、小学校、中学校とも全国平均を下回るなどの課題が明らかになってまいりました。(中略)

このようなことから、これまで、学校長の判断で各学校独自に実施してきた土曜学習を、今年度から、国の「土曜日の教育活動推進プラン」を活用し、**全小中学校で、①基礎学力の定着、②学習習慣の確立、③豊かな人間性の涵養などを目的に実施**してまいりたいと考えています。(中略)

4月から現在までの土曜学習の進捗状況を申し上げますと、すでに小学校17校中15校、中学校8校中6校で実施されています(※6月現在)。残りの小学校2校についても7月と10月に、中学校2校も7月と8月に開始されることになっております。(中略)

現在は、保護者、PTA、地域住民の方を中心に、各学校において、土曜学習を推進していく「組織」を立ち上げていただいておりますが、今後も継続的に安定して実施していくためには、しっかりとした「運営体制」を作ることが、最も大きな課題であると認識しております。



## 【質問趣旨】

柔道の授業・部活動での事故防止策及び安全対策について

## 【答弁内容抜粋】

(学校教育部長答弁)(前略)「事故防止対策及び安全対策」についてでございますが、市教育委員会といたしましては、生徒の安全確保は最重要課題であり、柔道授業や部活動において、安全管理に努めているところでございます。

具体的な取組としましては、①**指導歴または、研修歴を持った教員**が指導にあたる。②指導の前に生徒の**健康状態を把握**するとともに、指導中の**体調の変化等に気を配る**、また、生徒が自身の体調に異常を感じたら運動を中止する。③指導に当たっては、**生徒の学習段階や個人差、技能のレベルに応じた指導**を行う。④施設や用具等の安全点検を行うなど**練習環境に配慮**する。⑤事故が発生した場合の**応急処置や緊急連絡体制を整備**するなど、「部活動」に係る事故の防止や安全確保に努めております。

